



# 「共生社会における 医療ソーシャルワーカーの立ち位置」

日時 2021年6月26日(土) 13:30~16:30

会場 オンライン配信 (Zoom)



## プログラム

- 13:30~13:40 開会挨拶
- 13:40~14:40 基調講演 大石 美穂氏
- 14:40~14:50 休息
- 14:50~16:30 実践報告・研究発表
- 木村 亮太氏 (一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院  
臨床部 社会福祉士リーダー)
- 近藤 直樹氏 (社会医療法人三佼会 宮崎病院  
地域医療連携室兼医療相談室 室長)
- 程 明明氏 (上海大学 社会学院社会工作系 准教授)
- 陽 方氏 (上海大学 社会学院社会工作系 准教授)

主催:長崎国際大学 人間社会学部社会福祉学科

共催:上海大学 社会学院社会工作系

SHANGHAI UNIVERSITY



# 大石美穂氏 (Ohishi miho)

佐賀県立病院好生館  
相談支援センター 医療ソーシャルワーカー  
(現 佐賀県医療センター好生館)



## 「変化を遂げる医療とBio-Psycho-Socialモデル」 ～多職種に期待されるソーシャルワーカーのアセスメント～

- 内容: ① インテイク  
② 総合病院の取組みとして  
③ 対象者の全人的理解と多職種連携、他機関連携  
④ 多職種に期待されるソーシャルワーカーのアセスメント



### ◀ 木村 亮太 (KIMURA RYOTA)

退院支援において、ご家族との面接や介護指導、ケアマネ等地域の支援者との連携は不可欠です。しかし、新型コロナウイルスの蔓延により、ご家族や地域の支援者との関りが希薄になり、今までのような退院支援ができなくなりました。今回はその中でも社会福祉士が中心に取り組んできたリモートを活用した退院前カンファレンスについて報告します。



◀ 近藤 直樹 (KONDO NAOKI) 近年、少子高齢化の進展により単身世帯や頼れる親族がない、認知症などで判断能力が不十分な人が増えています。当院でも急性期病院という性質上、何も準備もないまま倒れて救急搬送される患者さんが多く、身寄りのない方の支援をした中で印象的だった事例を報告させていただきます。



◀ 程 明明 (TEI MEIMEI) (上海大学社会学院社会工作系主任、准教授)  
中国生命支援協会終末期ケアソーシャルワーク協会副主任兼秘書長、中国ソーシャルワーク協会医療ソーシャルワーカー協会理事。発表テーマ:「中国の Hospice and Palliative Careの発展とソーシャルワークに与えられた機会と挑戦」



◀ 陽 方 (YO HOU) (上海大学社会学院社会工作系 准教授)  
発表テーマ:「老年糖尿病患者におけるソーシャルワーク的介入」主に①中国糖尿病患者の実態 ②糖尿病患者に関わる支援(介入方法、効果、経験)など

内容

実践報告

研究発表

## お申し込み

申込みフォームへアクセス

ホームページ/Email/FAXでお申し込みください。

**右のQRコードから簡単にお申し込みできます！**

**申込み締切:2021年6月19日(土)**



### ■ オンライン(Zoom)について

オンライン視聴をご希望の方には視聴用URLをメールにてご連絡します。

**必ずメールアドレスの記載をお願いします。**

※参加無料

※視聴にかかる通信料はご自身負担となります。